



国土交通省 九州地方整備局  
**九州技術事務所**  
(九州防災・火山技術センター)



# 事業概要

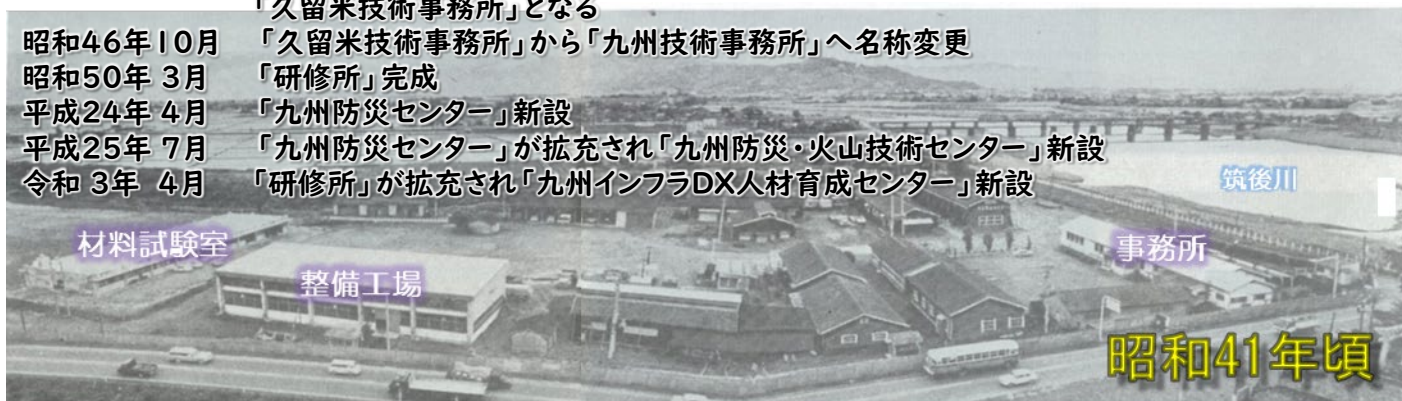
- Overview of the project -





# 九州技術事務所の歩み

- 昭和25年 4月 「久留米機械整備事務所」設置  
昭和39年 7月 「久留米機械整備事務所」を「久留米機械事務所」に名称変更  
昭和41年 4月 「九州地方建設局 鳥栖材料試験出張所」と「久留米機械事務所」を合併  
「久留米技術事務所」となる  
昭和46年10月 「久留米技術事務所」から「九州技術事務所」へ名称変更  
昭和50年 3月 「研修所」完成  
平成24年 4月 「九州防災センター」新設  
平成25年 7月 「九州防災センター」が拡充され「九州防災・火山技術センター」新設  
令和 3年 4月 「研修所」が拡充され「九州インフラDX人材育成センター」新設



## 九州技術事務所の組織

特定建設技術開発推進室（国土交通本省）

関東維持管理技術センター（関東地方整備局）  
北陸雪害対策技術センター（北陸地方整備局）  
中部地震津波対策技術センター（中部地方整備局）  
大規模土砂災害対策技術センター（近畿地方整備局）

### 九州技術事務所

九州防災・火山技術センター（九州地方整備局）

社会資本整備や維持管理及び防災に資する新技術の活用、技術開発・調査、防災機能並びに人材育成に係る業務を担っています。

また、これらの業務を進めていく上で「防災技術力の充実強化」、「建設技術の生産性の向上」並びに「人材育成の推進」を3つの柱として業務を推進しています。

総務課

防災・  
技術課

技術活用・  
人材育成課

品質調査課

火山防災  
減災課

## 九州防災・火山技術センター



近年頻発する広域大規模災害に迅速に対応するため、九州地方整備局では平成24年4月『九州防災センター』を設置し、地震・風水害・土砂災害等への対応を行ってきました。

また、これまでの火山災害対応で蓄積されたノウハウを生かし火山防災技術の高度化・効率化をより一層推進していくため、平成25年7月に新たに火山技術部門を設置し、『九州防災・火山技術センター』として機能強化・拡充を図っています。

### ●全国の技術開発拠点として、火山対策技術に関する人材育成

- 火山対策技術に関する各地方整備局等職員向けの研修・訓練  
(緊急調査での現地調査実習、氾濫計算システムの操作訓練等)

### ●九州の防災対応拠点として、大規模災害対応のバックアップ

- 大規模災害時のTEC-FORCEや資機材等の運用に関する研修



【現地調査実習、  
システム操作訓練】

# 九州技術事務所の役割・仕事

## ●新技術【NETIS】

(新しい建設技術を普及させる取組)

新しい建設技術の活用、開発促進のため、新技術（NETIS）登録や活用支援などの業務を行っています。



【新技術・新工法説明会開催状況】

## ●技術開発・調査

(建設現場の効率的な推進に関する取組)

建設機械類の改良、河川・道路に係る調査等、建設技術に関する開発・調査を行っています。



【簡易遠隔操縦装置】  
ロボQ S



建設  
技術

建設分野の  
生産性向上

防災  
技術

人材  
育成

## ●危機管理 ・防災

大規模災害における応急  
対策支援を行っています。

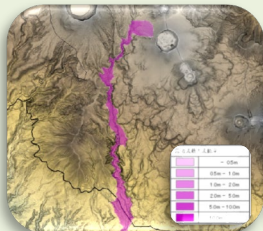


【全国から集結する災害対策用機械の中継基地機能】

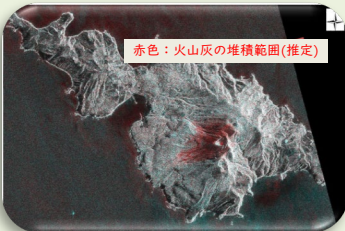


【浸水区域の緊急排水作業（R1.9 佐賀県大町町）】

## ●火山防災



【氾濫計算システム】



【衛星画像の活用】



【計画研修風景】

## ●計画研修

### 基礎・専門技術講習会

計画研修及び基礎・専門技術講習会を運営し人材育成に取り組んでいます。



【基礎技術講習会風景】



【専門技術講習会風景】

## ●小型無人機操作訓練

### 遠隔操縦式バックホウ操作訓練



無人航空機  
(UAV)



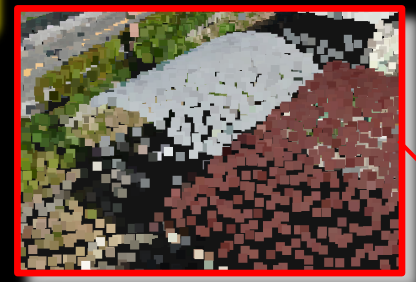
遠隔操縦訓練（雲仙）

【訓練風景】





UAVによる点群取得



国道3号

筑後川

【災害対策室】本館3F  
災害対策本部（九州地方整備局）のバックアップ機能



防災資材倉庫

体験型土木構造物  
実習施設（堤防）

屋外試験場



【応急組立橋】  
災害時に落橋した橋の代替  
として使用



正門

九州技術事務所 本館  
（九州防災・火山技術センター）

開発機械試験場

九州技術事務所 別館

【レトロブルドーザ】  
戦後の復興期に活躍し、その大任を果たした、国産機械として初期型のブルドーザ



室内実験場

体験型土木構造物  
実習施設（橋梁）

災害対策機械  
格納庫

研修所  
（九州インフラDX人材育成センター）

【研修所】  
職員等の研修を実施し、技術力の向上を図る  
※地方公共団体職員等の方が受講できる研修もあります



【九州インフラDX人材育成センター】  
BIM/CIM研修やDX研修をはじめ、官民のインフラDX人材を育成





# Digital Applications

(DX体験)

DXの取組み

詳しくはコチラ👉

3次元で  
事業をデザイン  
してみよう!

ゲームエンジンを用いた  
3次元データの活用



3次元デジタルデータとゲームエンジンの応用  
高精細かつ美しい完成予想制作と現場特性表現

木陰無

木陰有

中間進捗

完成



DigitalとPhysicalの連携 VR人材育成ツール

橋梁メンテナンスVR研修



バックホウ無人化施工シミュレータ





# Physical Applications

バリアフリー体験施設



(施設見学)

災害対策室



災害対策機械



DigitalとPhysicalが連携した人材育成施設

体験型土木構造物  
実習施設（橋梁）



体験型土木構造物  
実習施設（堤防）



(人材育成)

国民の視点にたった行政サービスを提供する人材像を目指して、実験施設を活用し、職員の専門力向上を図っています





# 九州インフラDX 人材育成センター (令和3年4月開設)

## ●インフラDX人材の育成の場

- ・九州技術事務所研修所を改修し、人材育成センターを構築
- ・BIM/CIM研修をはじめ、官民のインフラDX人材を育成

## ●現場での実践を意識した体感スペース

- ・3次元計測とゲームエンジンによるデジタルデータ活用
- ・河川堤防や道路橋等の維持管理VR体験
- ・無人化機械の遠隔操作シミュレータ体験
- ・没入型ドームスクリーンを用いた建機操作VR体験 等



UAV（無人航空機）の  
専門的な運用知識や  
操作技能の育成  
(令和7年4月設立)



国土交通省 九州地方整備局  
**九州技術事務所**  
(九州防災・火山技術センター)



各種体験のお申込みは  
こちらです！



九州技術事務所 SNS



〒830-8570 福岡県久留米市高野1丁目3番1号  
TEL (0942) 32-8245 FAX (0942) 32-8295  
E-mail [qsr-kyugi@ki.mlit.go.jp](mailto:qsr-kyugi@ki.mlit.go.jp)  
HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/kyugi/>